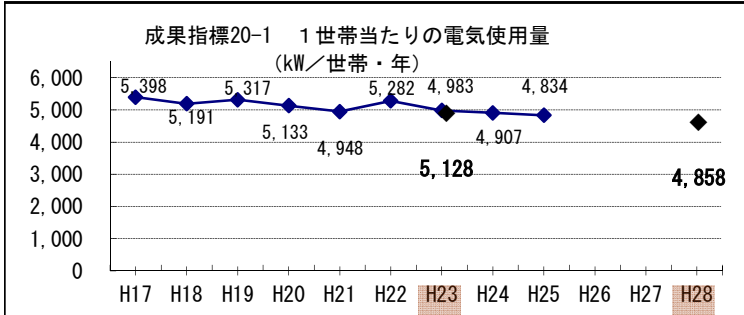
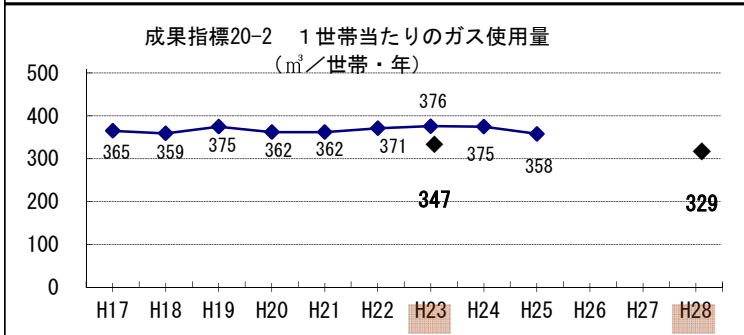


柱	4 共通基盤
分野	K 地球
ビジョン	自分達の手でライフスタイルを見直し、 きれいな地球を守る



主な事業

太陽光発電システム設置補助  
燃料電池システム設置補助



計画通りに成果が上がっているか

- 目標達成
- 順調
- 順調でない

成果指標の分析

①震災以来、節電意識の向上や再生可能エネルギーへの関心が高まっており、電気使用料は昨年度より減少し28年度の目標値を達成した。また、太陽光発電の買取価格が25年度から減額された事により、24年度末に飛び込みの契約が増大したことも要因として考えられる。

②ガスの市内契約数は、ここ数年増加傾向にあり、それに伴い家庭用のガス供給量も増加している。しかし、一世帯当りの使用量に関してはここ数年横ばい傾向だが、24年度と比べると25年度は減少している。

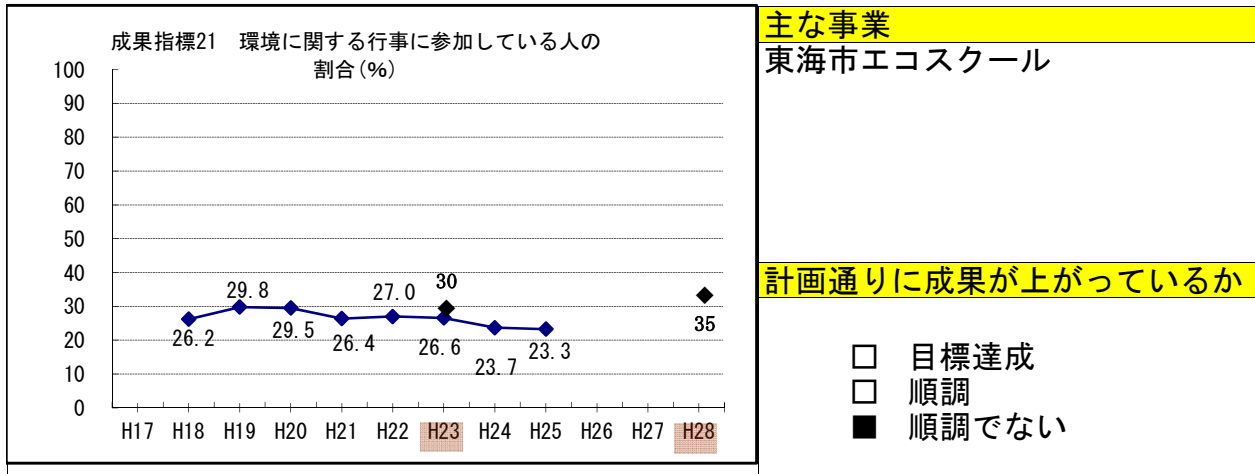
成果が向上する余地（可能性）は？

大  中  小

成果向上のためにすべきこと、次年度への取り組み方針

エネルギー消費は景気や気温に影響することが大きい。これらについては、省エネルギー効果の高い機器や太陽光発電システムの設置の促進を行なうことにより、改善が図れると考える。

柱	4 共通基盤
分野	L 環境学習・人づくり
ビジョン	学・思・行 相まって、未来につなげる人づくり



**成果指標の分析**

平成25年度は昨年度と比較すると、0.4%減少し、成果として順調ではない。年齢別に比較すると、年齢とともに参加率が増加している。環境に関する行事に参加している人の中で、地域の清掃活動に参加している人の割合が最も高い。

成果が向上する余地(可能性)は？  大  中  小

**成果向上のためにすべきこと、次年度への取り組み方針**

東海市エコスクールで今年度も他課の環境学習をエコスクールとして開催したり、新しい講座を増やして、環境の関心を高めていく。  
また、環境の関心を高めるために、メディア、広報紙等を使って、積極的に広報活動を行っていき、エコスクールの認知度を上げる。